

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年8月16日に不適合管理会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、不適合管理会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件
2. GⅡグレード 0件
3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	2号機	ドライウェル冷却器冷却水の入口温度と出口温度との差が大きいくことを示す警報が発生し、当該温度指示値が一時的に変動を繰り返したことを確認した。当該計器を点検・修理。	
2	2号機	放射性廃棄物処理設備中央制御室電子計算機の情報処理装置の故障を示す警報が発生し、主制御がⅠ系からⅡ系に切り替わったことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	
3	6号機	燃料プール冷却浄化系保持ポンプ室入口扉のドアクローザーに破損を確認した。当該扉を点検・修理。	
4	その他	気象観測設備の点検時、放射収支計(予備品)のセンサー一部塗装面の剥がれを確認した。当該部を修理。	
5	その他	セメント固化設備において、ドラム缶充填後の搬送時にドラム缶が搬送されないことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	